

施策28 社会性豊かな青少年の育成

施策28 社会性豊かな青少年の育成											作成日：平成22年6月30日			主管課名：教育委員会生涯学習課					
No	施策名称	主管課	施策の対象	施策の 対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	実績値 (H21)	単位	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	施策の21年度目標達成度とその要因	施策の総評価 (18年度から21年度までの達成状況)	
28	社会性豊かな青少年の育成	生涯学習課	青少年(主に中学生から20歳)	青少年(中学生から20歳)人口	社会性を身につけてもらう	青少年の補導件数	122	50	54	149	件	成 250	成 250	統計資料	保健福祉課	・大船渡市少年センターの統計資料(年度)	青少年の補導件数は、21年度目標値220件に対し149件であった。 青少年人口に対する補導件数の割合は、21年度目標値6.1%に対し5.1%であった。 中学生はよく地域行事やボランティア活動に参加していると答えた市民の割合は、21年度目標値30.0%に対し33.7%であった。 高校生はよく地域行事やボランティア活動に参加していると答えた市民の割合は、21年度目標値14.0%に対し11.5%であった。 近年の実績値はほぼ目標値を達成している。当地域は歓楽街や遊技場等も少なく、また重大な犯罪等も発生しておらず、比較的安全な地域といわれている。	成果指標の推移をみると、青少年の補導件数および割合は、4年間総じて概ね達成している。青少年の補導件数は、年によって大きく増減しており、青少年を取り巻く社会にその要因があるとはいえない状況である。18年と21年を比較すると補導件数は増加している。中・高校生のボランティア活動に参加していると思う市民の割合は、4年間総じて向上しており、青少年の社会活動への参加がうかがえる。	
												目 220	目 200						
						青少年人口に対する補導件数の割合	4.2	1.7	1.8	5.1	%	成 7.0	成 7.0	業務取得	生涯学習課	・補導件数 / 青少年人口(13～20歳未満)年度末			
												目 6.1	目 5.6						
						中学生はよく地域行事やボランティア活動に参加していると答えた市民の割合	29.5	28.4	31.4	33.7	%	成 26.0	成 26.0	市民アンケート	生涯学習課	・H21市民意識調査で取得(問23)あなたが日常生活をする上で、日頃、どのように感じていますか？ 中学生はよく地域行事やボランティア活動に参加している → そう思う7.2 % → どちらかといえばそう思う26.5 %			
												目 30.0	目 30.0						
						高校生はよく地域行事やボランティア活動に参加していると答えた市民の割合	9.8	10.8	12.5	11.5	%	成 10.0	成 10.0	市民アンケート	生涯学習課	・H21市民意識調査で取得(問23)あなたが日常生活をする上で、日頃、どのように感じていますか？ 高校生はよく地域行事やボランティア活動に参加している → そう思う2.0 % → どちらかといえばそう思う9.5 %			
												目 14.0	目 15.0						
施策の振り返り(施策の21年度方針の達成状況)																			
21年度方針では、予算の水準を抑制しながら施策成果の維持・向上を目指す施策として位置づけられている。施策事業費は全体で経費節減したため総コストは減少した。 平成21年度において、「大船渡市放課後こどもプラン」を策定した。																			

No	基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の 対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	実績値 (H21)	単位			取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの 主な取り組み(事務事業)の実績
1	青少年が健やかに育つ環境づくりの推進	生涯学習課	青少年(主に中学生から20歳) 保護者・学校・PTA 関係団体 地域住民	青少年(中学生から20歳)人口	悪影響を及ぼす環境が改善される 青少年の悩みが解消される	青少年の補導件数	122	50	54	149	件			統計資料	保健福祉課	・大船渡市少年センターの統計資料	・放課後子どもプラン推進事業 運営委員会開催数1回 関連する事業として以下の取り組みを実施している。 青少年の補導件数は、年度によって大きく増減しており、重大な犯罪に結びつく事例は発生していないものの、継続した指導等が必要である。 防犯パトロール(補導員による見回りや公用車への「防犯パトロール実施中」のステッカーの貼り付け)等の取り組みを行っているが、インターネット、携帯電話の普及による補導件数の増加が懸念される。	・青少年健全育成キャンペーンとして、年2回(7月・3月)市地域婦人団体連絡協議会との共催で、市の公用車による青少年健全育成広報活動を実施。 ・青少年健全育成環境パトロールとして、11月に、市青少年育成市民会議・市防犯協会連合会・市少年センターとの共催で、市内の書店、娯楽施設等を巡回し、青少年の健全育成にふさわしくない環境が無いパトロールを実施。 ・こころの教室相談員を8中学校に1名ずつ8名配置(週2～3日、1日4時間勤務) ・教育相談員を3名配置(10年度より旧図書館内に相談室を設置、市内小中学校を巡回)
2	青少年育成のための連携強化と意識啓発	生涯学習課	青少年(主に中学生から20歳) 保護者・学校・PTA 関係団体 地域住民	青少年(中学生から20歳)人口	社会のルールを身につけてもらう 社会や地域のことを考えるようになってもらう	中学校での家庭教育学級参加率(参加者数 / 中学生数)	47.6	59.8	61.6	48.5	%			業務取得	生涯学習課	・中央公民館にて把握(公民館の家庭教育学級事業の参加率)	中学校での家庭教育学級参加率は、48.5%で、前年度より減少した。 青少年地域活動の事業継続率は、100%であった。	主な事務事業は以下のとおり ・青少年問題協議会開催事業 青少年育成に関する事業報告と活動方針を審議、年1回開催 ・大船渡市少年センター運営事業 巡回補導日数360日 ・成人式の開催事業 新成人数523人、成人式に出席した新成人の数383人、成人式出席率73.2%
						青少年地域活動の事業継続率(小中学生向け)	100.0	100.0	100.0	100.0	%			業務取得	生涯学習課	・青少年地域活動事業の対象地域を各年度指定しているが、各地域とも指定地域が外れても同様の事業を継続しているかを、毎年度続けて中央公民館にて把握	各種講演会の開催、あいさつ運動、子ども会活動など地域が主体となった活動の成果が現れてきているものと考えられる。	